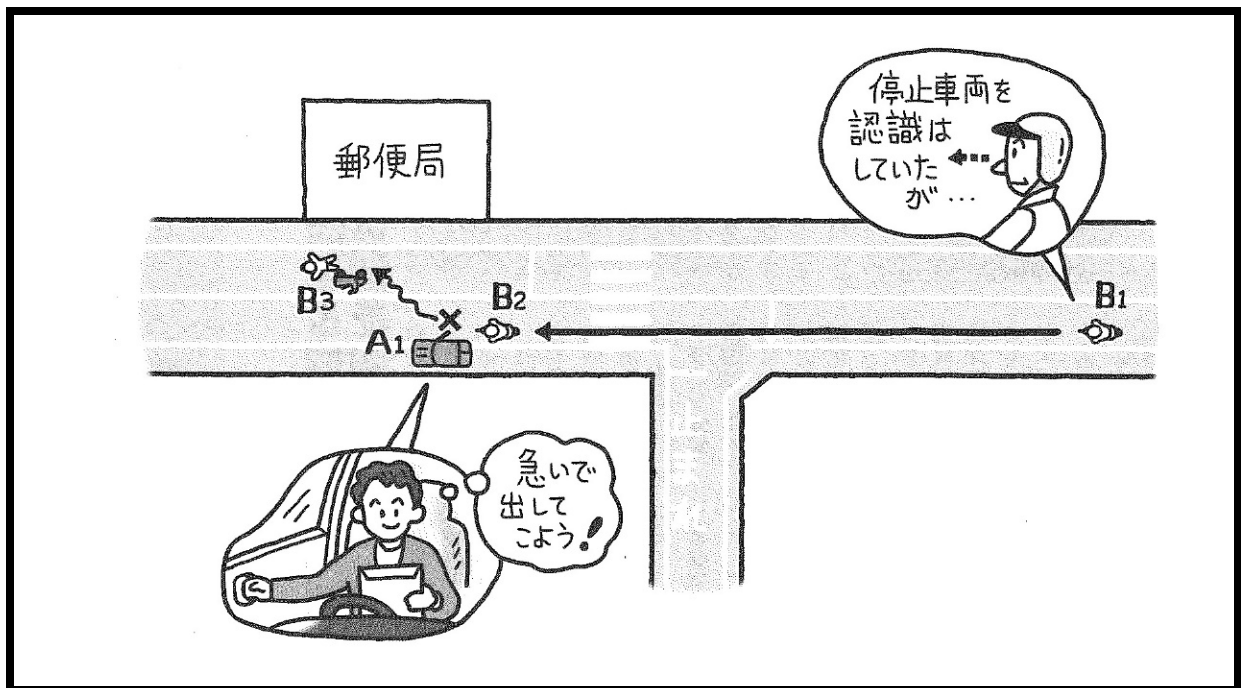


■事故の概況



事故類型：追突

発生日時：平日 正午

当事者A：普通乗用車 40歳代 女性

当事者B：原付自転車 60歳代 女性

■ 事故の概要

Aは昼休みを利用して郵便物を届けようと急いでいました。車の往来がなかったので往復2車線道路の左側路肩に車を停車させました。サイドブレーキをかけエンジンを切り、急いで車を降りようと扉をあけたところ、車両の左後方から進行してきたB車がドアに接触し転倒しました。

一方BはA車と同方向を時速約30kmで走行していました。前方にA車を発見し、脇から追い抜こうとA車と並んだその途端、いきなり運転席のドアが開いたため、Bもろとも転倒したまま数メートル滑走し対向車線上で停止しました。

■ 事故から学ぶ

Aは休憩時間中に用を済ませてしまおうと急いでいたためドアを開ける際後方の安全確認を怠りました。ドアを開ける前に改めてルームミラーやドアミラーでの後方確認と、さらに目視で後方からの車両の有無を確認すべきでした。

Bも追い抜く際A車との間隔を広くとって走行していれば、衝突を避けられたかもしれませんが。停止車両の脇を通過する際はドアが目一杯開いても安全な間隔をとることができ、防衛運転は有効です。

車両から降りる際には周りの交通状況を十分確認し、少しだけドアを開き一端止めた上、改めてドアを開くことも事故防止に役立つひとつの方法です。